

都市再生整備計画 事後評価シート
町野地区

平成27年3月

石川県輪島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	輪島市		地区名	町野地区			面積	927		
交付期間	H21～H25		事後評価実施時期	H26		交付対象事業費	855	国費率	40%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(市道鈴屋寺山線、市道寺山2号線、市道真久線、市道金蔵線)、地域生活基盤施設(広場)、高次都市施設(地域交流センター)									
			提案事業	地域創造支援事業(中学校、スポーツ拠点施設)、まちづくり活動推進事業(町野地区活性化計画)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業	道路、高質空間形成施設			地権者との交渉が難航したため事業から削除することとした。			まちづくりの目標達成に関してマイナスの影響があるが目標も指標も据え置く。			
			提案事業	-			-			-			
新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(広場)			地区内の市営住宅や近隣住民との交流促進のため広場整備を追加することとした。			まちづくりの目標達成に関してプラスの影響があるが目標も指標も据え置く。				
		提案事業	地域創造支援事業(中学校、スポーツ拠点施設)			地域交流施設に併設して中学校を建設することになったため追加することとした。地域交流施設等との相乗効果を図るためスポーツ拠点施設を追加することとした。			まちづくりの目標達成に関してプラスの影響があるが目標も指標も据え置く。				
交付期間の変更		当初	H21～H25		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	まちづくりに関する活動の開催回数	回/年	187	H19	200	H25	-	213	○	あり なし	目標値を上回ることが出来た。新たに整備した施設を地区内の住民が有効に活用し、地域間交流の機会が増加した。	-
	指標2	文化的・体育的活動の開催回数	回/年	321	H19	350	H25	-	343	△	あり なし	● ● 目標の達成はならなかったものの新たに整備した施設を地区内の住民が有効に活用し、地域間交流の機会が増加した。指標1とあわせて総合的な効果が発現されているものと考えられる。	H27.3
指標3	地区内人口の減少率	%/年	2.3	H19	2.0	H25	3.3	3.0	△	あり なし	● ● 目標の達成はならなかったもののモニタリング時に下降した数値を相当数まで回復できたと考えられる。	H27.3	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
その他の数値指標	地区内人口の減少率(社会動態)	%/年	0.8	H19	-	-	0.9	0.9	△	-	高齢化が著しい地域であることから自然動態(出生・死亡)の減少は避けることが出来ないが、社会動態(転入・転出)については、ほぼ横ばいであり一定の効果が発現されているものと考えられる。	H27.3	
4)定性的な効果発現状況	指標2では目標値を達成することができなかったが、指標1と指標2の合計では目標値を上回る結果となっており、施設整備により地域間交流の機会が増加している。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	指標にかかる数値の把握			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 今後も同様に把握していく予定。				
	住民参加プロセス	整備した施設において設計段階から地域住民の意見を反映できるようミーティング等を開催した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 整備した施設の維持管理等においても、住民参加で実施できるよう取り組みを行う予定。				
	持続的なまちづくり体制の構築	公民館が中心となり、利活用に関する取り組みを実施した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 地区内の活性化に向けた取り組みを継続して実施する予定。				

様式2-2 地区の概要

町野地区(石川県輪島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

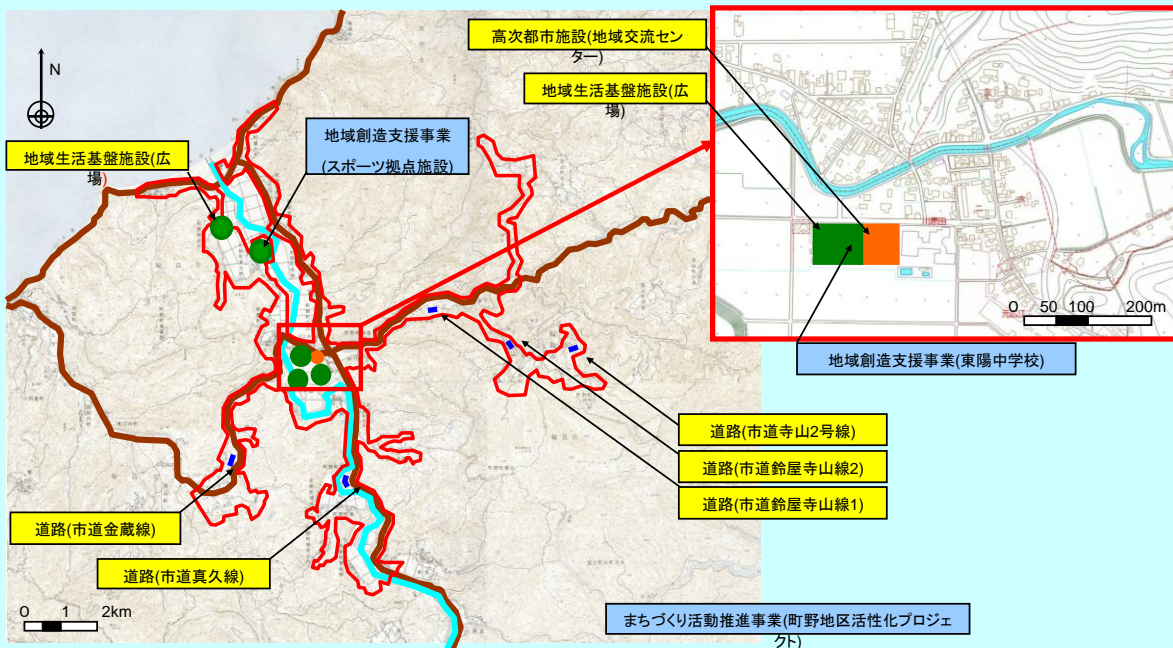
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標:コミュニティあふれるまちづくりをめざして ~コミュニティがつくるまち・コミュニティがまもるまち~ 目標1 まちづくりの核となる地域コミュニティの維持 目標2 地域の活力となる定住人口の維持	まちづくりに関する活動の開催回数	単位:回/年	187	H19	200	H25	213	H25
	文化的・体育的活動の開催回数	単位:回/年	321	H19	350	H25	343	H25
	地区内人口の減少率	単位:%/年	2.3	H19	2.0	H25	3.0	H25
	地区内人口の減少率(社会動態)	単位:%/年	0.8	H19	-	-	0.9	H22



東陽中学校



地域交流センター



広場



スポーツ拠点施設

まちの課題の変化	当初は地域の賑わい・魅力の創出、伝統文化の継承、生涯スポーツの振興、コミュニティの維持・強化、地区内人口の流出防止等が課題としてあげられていたが、地域交流センターを始めとする施設整備の実施により各種活動による地域交流の機会が増加することで、これらの課題を解消する環境が概ね整った。 また、定住人口の確保に関する指標が達成できなかったが、事業期間中に激減した人口を事業の実施により相当数まで回復できたと考えられる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	整備した施設や既存の施設のPRや各種活動の募集等を行うほか、他地域との交流活動も展開するなど、ソフト面における取り組みを充実させる必要がある。 各種活動を通じてコミュニティの維持・強化を図る中で互いの防災意識を醸成していく必要がある。 地区の魅力度の向上により住民の地区外への転出を防止するとともに地区外からの転入促進を図るため、定住促進に関するソフト面の支援を検討する必要がある。